

令和4年度 進路だより



秋田県立秋田きらり支援学校
第5号
令和5年1月30日発行



進路についての学習は、高等部からではなく、小学部段階でもできることがたくさんあります。今回は小学部での様子についてご紹介します。

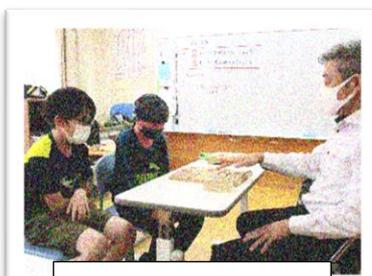
小学部での実践



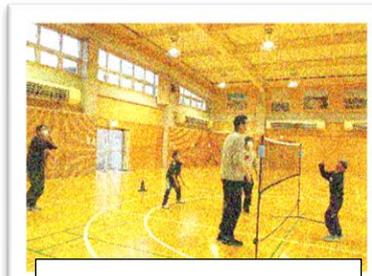
6年3組の自立活動は、二人の「やってみたい気持ち」を大切に、5年生から継続して調理・室内運動・足湯・将棋・外遊び等を行ってきました。この学習の良かったところは、子どもたちが自分の心身状態を知り、より快適な生活の仕方を工夫し、実践できたことです。



初めての卵割りに挑戦

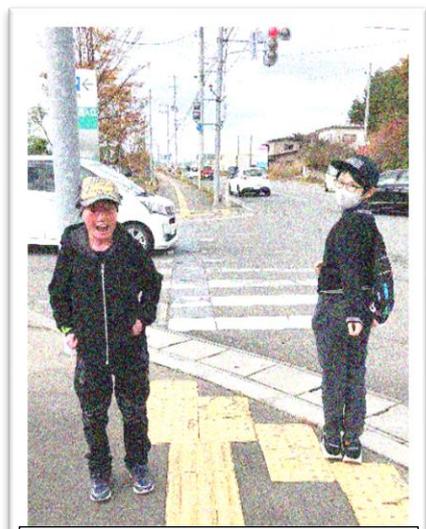


将棋って楽しい！



みんなでバレーボール

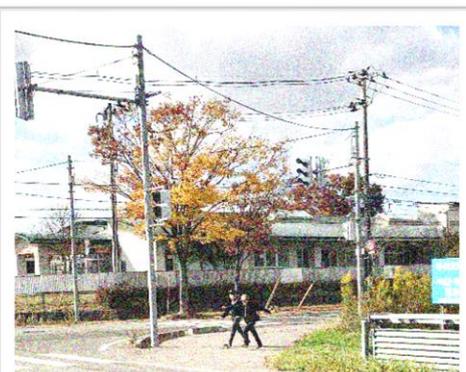
二人の努力は、昨年11月の「遠くヘレッツラゴー」という学習で花開きました。「いぶきの里まで自分たちで歩きたい」という願いは、多くの方々の協力を得て実現し、交通ルールを守ること・自分で心身を管理すること・時間を守ること・買い物をする事・互いに仲良く助け合うことなど、これまでの学習で積み上げた力を存分に発揮する集大成となりました。



安全に横断歩道を渡ります。



いぶきの里で買い物中



普段はスクールバスとデイサービスを利用しているので、子どもたちだけで歩くことは初めて！ドキドキの体験です。

「こんなことができるようになりたい」という子どもたちの思いを軸に学習を継続したことで「自分でできること」が増え、自然に社会と関わる活動につながりました。これからも子どもたちの気持ちに寄り添いながら学習を進め、「自分が得意なことや苦手なこと」を理解できるようにし、少しずつ自分の将来について考える指導につなげていきたいと思ひます。



第5回青年学級(11月26日)



↑同窓会役員の方々には、進行等でもご協力いただきました。



今回の青年学級は、出た目に合わせた題目について話す「サイコロトーク」をしました。今、はまっていることや困っていることなどを順番に話しました。仲間の話を聞いて「うんうん」と頷いたり、「へえ～」と感心したりして、みんなそれぞれに頑張っているんだなあと、活力をもらう時間になりました。



【 ～進路質問箱より～ 】

質問箱に投函がありましたので、回答させていただきます。

今後も何でも
ご質問ください。

Q 1) 福祉事業所合同説明会などを、またやってほしい。(複数)

A) 今年度、生活介護事業所や就労支援A型・B型事業所等に参加していただき開催した「福祉事業所合同説明会」は隔年で開催しております(県央地区特別支援学校進路指導連絡協議会主催)。そのため、**次回は令和6年度開催**となります。

Q 2) 将来は身体の状態も含め、どのようになっていくか心配です。(小保護者)

A) 将来のことを考えると誰でも本当に心配になります。

身体の状態は成長に伴い変化していくと考えられますので、医療とはこれからも十分に関わりを深め、身体のことを相談していくことが大切でしょう。それをもとにその時々状態に合った学校生活や卒業後の進路に向け、情報を共有し、学校と連携しながら進めていきましょう。

『今を大切に』しながら、将来に繋がる一步一步を積み重ねていきましょう。

例えば、家庭や学校で様々なことに挑戦・経験したり、様々な福祉事業所の見学をしたり等。

・たくさんの挑戦・経験は、お子さんの感情の表出や獲得、自信やアピールポイントの獲得、経験値アップ(人・物・場所・環境・雰囲気などへの慣れ等)に繋がっていくと考えます。

・各事業所により、雰囲気やサービス等に違いがあるため、「自分の子に合うかな?という視点」での見学は、将来の進路選択に役立つと考えます。(見学は、会話では分からない情報です。)



心配ねえ

